

船舶事故調査報告書

平成30年2月21日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	転覆
発生日時	平成29年6月25日 23時55分ごろ
発生場所	岡山県玉野市 ^{かずら} 葛島西方沖 宇野港口飛州 ^{とびす} 灯台から真方位155°60m付近 (概位 北緯34°28.4′ 東経133°56.9′)
事故の概要	プレジャーボートサザエは、揚錨中、転覆した。
事故調査の経過	平成29年10月31日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート サザエ、5トン未満（長さ4.99m）
船舶番号、船舶所有者等	271-15927岡山、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	魚群探知機等に濡損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風速 約1.0m/s、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 高潮時、潮流 約3ノットの北西流
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、友人1人を乗せ、葛島西方沖において、船首及び船尾からそれぞれ錨を投入して合成繊維製の錨索を伸出し、船首を北方に向けて錨泊し、釣りを行っていた。</p> <p>本船は、船長が、釣りを終えて帰航することとし、右舷船尾部に腰を掛けて船外機を後進にかけ、前部甲板の右舷側で腰を掛けていた同乗者が船首側の錨索を手繰り寄せていたところ、錨索が前部甲板の右舷側から出していた3本の竿の釣り糸に絡まった。</p> <p>船長は、船外機を中立運転とし、錨索がプロペラ翼に絡まっていたので、同乗者に錨索を切断させ、船内にあった浮きに錨索を一旦^{つな}繋がせた上、先に船尾側の錨を、後から船首側の錨をそれぞれ回収することとした。</p> <p>本船は、船長が、同乗者に指示をしようとして立ち上がったところ、右舷側に体重が掛かり、右舷側に転覆した。</p> <p>船長及び同乗者は、落水した後、転覆した本船の船底に上がり、船長が携帯電話で118番通報した。</p> <p>船長及び同乗者は、救命胴衣を着用していなかった。</p>
分析	本船は、葛島西方沖で揚錨作業中、船長が立ち上がったことから、右舷側に船長の体重が掛かり、右舷側に転覆したものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、葛島西方沖で揚錨作業中、船長が立ち上がったため、右舷側に船長の体重が掛かり、右舷側に転覆したものと考えられる。

参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 小型船に複数人で乗船する際は、立ち上がることを極力控えるなどして船体の左右のバランスが崩れないよう心掛けること。
-----------	--